

北部病院だより 第129号(2019.3)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】緩和ケアについて
【TOPICS】ロビーコンサート開催報告
【TOPICS】栄養科だより
【医師の配属・異動・退職】
【患者さんからのご意見・ご要望】
【診療統計】
【TOPICS】がん相談支援センターについて
【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

巻頭言 緩和ケアについて

皆様は緩和ケア病棟と聞くと、どのようなイメージが湧きますか。今でもホスピスのイメージが色濃く残り、未だに医師の中ですら、看取りの場とか最期にいくところであるという誤った認識がなされているのが現状です。

日本では国を先頭にがんが診断された時から、緩和ケア、緩和医療を開始することを目指しています。そのために、がん治療に関わる医師、とりわけがん診療拠点病院の医師はすべてが基礎的な緩和ケアの研修をすることが義務づけられています。

緩和ケアと緩和医療の言葉の違いはケアを中心に発展してきた緩和をもっと積極的に医療的に苦痛を緩和していくということを明確にしたもので、実質に大きな差はありません。

がん治療を入院して行う必要がある場合は一般病棟に入院し、そこでは緩和医療チームが介入して、がんから生じる苦痛症状を緩和していきます。

一方、緩和ケア病棟はがん治療で体力が低下したり、副作用でがん治療を中断している場合に、がんから生じる苦痛症状があれば、入院してもらい、主に緩和医療科が苦痛緩和を図っていきます。もちろん苦痛が緩和された時点で緩和ケア病棟から退院し、在宅療養に移行していくのが目標です。緩和ケア病棟では30日以内に退院、転院することが国の政策上から推奨されているのです。

そして、残念ながら未だにモルヒネなどの医療用麻薬を主とするオピオイド製剤はがん末期になったら使うものであるとか早く使うと効かなくなるといった誤った認識を持っている人が少なからずいます。

そもそもオピオイドはもともと身体の中にある成分（内因性という）で、自分の身体の中でいろいろな働きをしている物質です。現代では良性疾患でも医療用麻薬を使う時代です。

医療用麻薬を使い続けるとやめられなくなるのではないかと（依存性が生じる）とか医療用麻薬の量をどんどん増やすことになる（耐性が生じる）という不安があって、医療用麻薬を拒否する患者さんやご家族がいます。何も症状がない人に医療用麻薬を使うと危険です。しかし、日本の鈴木勉先生を中心としたグループが痛みのある人に医療用麻薬を適切に使用するならば、依存性も耐性も現れず、副作用も十分コントロールできる、安全性の高い薬剤であると証明しています。薬剤の中では不思議な珍しい性質だと感じられるかもしれませんが、同じような機序のオピオイドが元々、身体の中で作られて作用しているわけですから、体内の安全機構もあるのです。

日本人は痛みを我慢する傾向にあると言われていますが、痛みは我慢しない方が良いのです。痛みがあると、よく眠れないとか、食欲がわかないとか、気持ちが落ち込むなど、結局は身体の状態を悪くする事につながります。痛みを起こす刺激が身体に加わるとその情報は2つの経路で脳に伝わり、刺激の部位や程度を伝えると共に、身体にとっては危険な刺激があるということを強く認識させるために不安や不快といった情動を引き起こすのです。また、痛みを伝える神経は自律神経にもつながり、自律神経の失調を引き起こします。

海外からはがんの早期から緩和ケアを併用すると生存期間が長くなるとの報告が出ています。ですから、痛みがでたら、痛みや苦痛を我慢する必要がないどころか、出来るだけ早く痛みを緩和してもらうように主治医に相談するのが良いのです。

これを機会に緩和医療を躊躇せず、おいに利用して下さい。



緩和医療科

岡本 健一郎 教授

TOPICS ロビーコンサート開催報告

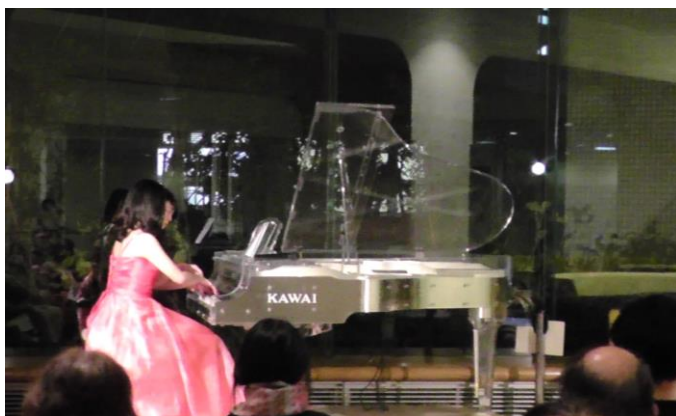
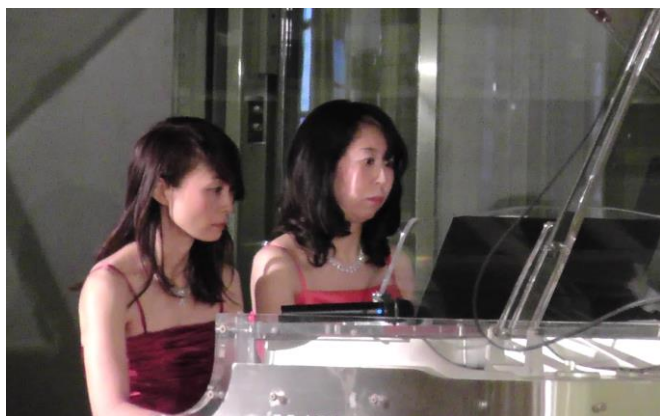
2019年1月30日（水）19時より中央棟1階会計前にて、ロビーコンサートが行われました。

今回は、大学の同級生である大川彩子さんと仲摩綾野さんと結成したピアノデュオ「Ai Fiori」にご出演頂きました。

コンサートは「アヴェマリア」の美しいメロディーが響き渡る中はじまりました。

曲目は、CMでも使用された「私のお気に入り」や中島みゆきの「糸」、坂本九の「上を向いて歩こう」等、多くの方が聞き馴染みのある楽曲を中心に構成されていました。それぞれの曲への想いや解説を挟みながら、お2人の息の合った連弾から生まれる、優しい音色に癒される30分間となりました。

また最後の曲「故郷」では、ピアノメロディーとお集まり頂いた皆様の歌声で会場が1つになり、あたたかい雰囲気に包まれ、終演となりました。



ロビーコンサートを開催いたします。多くの方にお越しいただけることをお待ちしております。

日時：平成31年3月18日（月）19時00分～

場所：中央棟1階 会計前ロビー

演奏者：島田 愛梨・梨音（ピアノ）

当院でのロビーコンサートは今回が5回目、現在14歳と12歳の姉妹でのご出演。

4歳からピアノをはじめ、クラシックから歌謡曲・JAZZ・アニメソング等幅広いジャンルを演奏。

「皆さんの心が少しでも温まるような演奏がしたいです。」



※ 日程及び内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



TOPICS 栄養科だより

日本には、昔から伝えられている四季折々の伝統行事がありますが、3月3日の「ひな祭り」もそのひとつ。当院でも3月3日の夕食でひなまつりの行事食を提供いたします。

常食の献立では、ちらし寿司をメインにいたしました。他にも季節感を感じていただこうと、菜の花の小鉢をご用意しております。汁物は春らしく、三つ葉と花麴のすまし汁です。甘味にはひなあられをご用意いたしました。

ちらし寿司にはえび（長生き）、れんこん（見通しがきく）、など縁起のいい具が入っており、お祝いの行事食にふさわしく、卵、人参などの華やかな彩りが食卓に春を呼んでくれるため、ひな祭りの定番メニューとなったようです。

季節とともに巡ってくるこうした行事をお食事を通して感じて頂ければ幸いです。これから春に向かい暖かくなっていきます。皆様的一天も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。



〈ちらし寿司〉

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【附属施設から】

・ 國廣 佳奈（皮膚科） 昭和大学病院 皮膚科より

2019年3月1日付

異動・退職医師

【附属施設へ】

・ 三輪 祐（皮膚科） 昭和大学病院 皮膚科へ

2019年3月1日付

【退職】

・ 武重 由依（内科）

2019年2月28日付

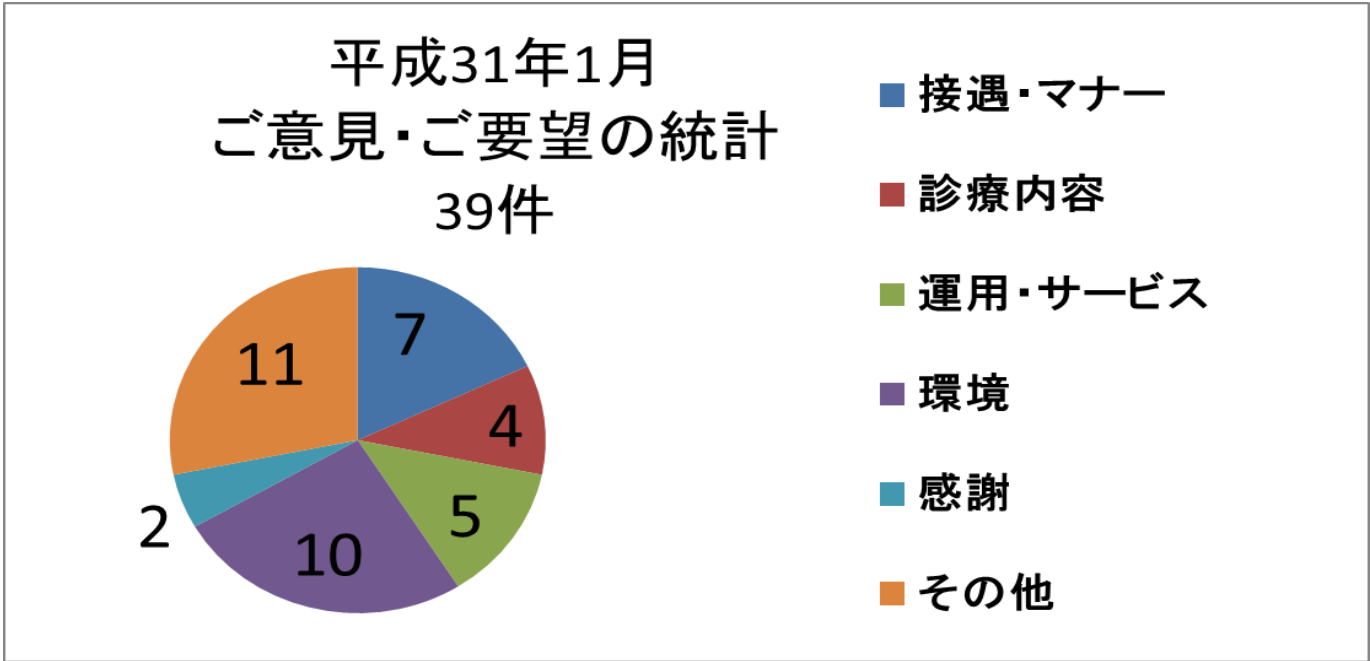
患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<診療内容について> 手術を待つのが長時間の場合、外に出られないのが辛かった。 他 3 件	外来の患者さんか入院手術患者の御家族の方からのご意見と推測します。 外来手術患者さんの手術待ち時間がある場合は、外来と連絡を取り、待ち時間の苦痛を少しでも軽減できるようにしておりますが、更に強化していきます。 入院患者さんの御家族の場合にも病棟看護師と連携を取り、精神的苦痛、身体的苦痛を軽減できるよう努力していきます。
<運用・サービスについて> 朝食、夕食に白身魚が多いので出来れば青魚も食べたい。 他 4 件	今後全体のバランスを見て献立に青魚を組み込んで参ります。 変更する場合もございますが、 1 月 30 日、夕食にサバの竜田揚げ 2 月 6 日、朝食にアジの開き 2 月 17 日、夕食にぶりの照り焼き を予定しております。



診療統計

前年同月比 ()内は1日平均

診療実日数 2018年1月(入院:31日・外来:23日)、2019年1月(入院:31日・外来:23日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2018年1月	18,106人(584.1人)	25,352人(1,102.3人)	551件(18.4件)	673件(35.4件)
2019年1月	18,320人(591.0人)	25,958人(1,128.6人)	657件(21.9件)	737件(38.8件)

がん相談支援センターについて

相談員(看護師や医療ソーシャルワーカー等)が、患者さんやご家族から質問や相談をお受けし、情報提供や問題の解決に向けて、一緒に考えていきます。

※個人の秘密は守り、相談されたことにより不利益が生じないように配慮します。

※相談は無料です。

受付時間

月～土曜日(祝日除く)

8:30～17:00

対応時間

月～金曜日(祝日除く)

8:30～17:00

場所

中央棟1階総合相談センター(総合案内隣)



編集後記

早いもので、年度末の3月になってしまいました。まもなく天皇陛下の退位により「平成」が終わります。4月には、新元号が発表され、5月1日から新元号元年となります。この時期に、卒業や入学、就職などで新生活を始められた方も多いのではないのでしょうか。年度は、4月1日から始まるために、何か複雑な感じがしています。また、新元号の年度ということで、心が引き締められる思いがします。来年度は、消費税10%や働き方改革等新しい制度が導入され、様々な変化が起きます。柔軟で適切な対応は必須な状況を前に、「平成」を振り返り前向きに取り組んでいきたいと思います。

〈看護部 次長 柴田 雅子〉



北部病院だより 第129号

平成31年3月1日発行

発行責任者 門倉 光隆(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)

発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。